



まさき

教科担任制の拡充を通して、すべての子どもたちに力をつける

令和7年度が始まりました。子どもたちの元気な声を明るい表情が学校内に潤いを与えています。保護者の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、本校では昨年度、図画工作、音楽などの教科で、教科担任による授業（教科担任制）を行ってきました。図画工作の教科担任による授業では、完成した作品の質は高く、児童の作品づくりへの探究心が高まりました。6年生の音楽では、発声の専門的な指導により、二部合唱の質が高まり、素晴らしい合唱を披露して卒業することができました。このように、教科の専門の先生による授業は、子どもたちの興味・関心が高まり、教科の力が身につくことが分かりました。

そこで今年度は、高学年を中心に、教科担任による授業を行います。中学年は、学級担任による授業と教科担任による授業と交換授業、低学年は学級担任による授業とします。

教科担任による授業でねらう効果は次のとおりです。

1 授業の質の向上

一人の教師が担当する教科数は、減少します。また、教材研究をする時間を確保することにより、担当する教科の質の向上に充てることができます。6年生なら、同じ授業を4クラスで実施することになり、もっと良い授業にするために授業を改善することができます。

2 小・中学校間の円滑な接続

中学校は、教科担任による授業が1日中行われていて、学級担任中心の小学校の生活とは大きく異なります。中学校に進学して、その違いに戸惑う子どもも少なからず存在します。高学年で教科担任制を行うことにより、子どもたちが安心して中学校へ進学し、中学校での学習・生活に順応しやすくなることをねらっています。

3 多面的な児童理解

学級担任のみではなく複数の教師が教科指導に当たることを通じ、多くの教師による指導・支援ができるようになります。また、学級担任以外にも、相談できる教師がいる子どもが増えることを期待しています。学年全体の状況を常に意識し、子どもに関する情報共有等を通じて教師間の連携が深まり、いじめや問題行動への早期発見、早期に組織的対応が可能となります。

4 教師の負担軽減

一人の教師が担当する教科数は減少し、教材研究の充実等とともに時間外勤務の縮減が見込まれます。中学年では、授業交換を実施する予定で、授業準備の効率化につながります。本校における働き方改革を更に進めていく中で、教科担任制を適切に活用することにより、本校の教育の質の向上と教師の負担軽減を一体的・効果的に進めることをねらっています。

今年一年、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひします。 校長 花村伸二